

第2次環境基本計画改訂版 平成29年度重点プロジェクトの実績一覧(H30.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成28年度の実績 (参考)	平成29年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地球温暖化対策の推進(1)	① 低炭素まちづくりの検討及び推進 ・下水熱など未利用エネルギーの活用 ・自動車利用抑制による公共交通機関の利用促進等 ・公園等における緑地の保全及び緑化の推進	大阪大学環境イノベーションデザインセンター(CEIDS)に代わって新たに発足した、大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター(CoIRe)とあため連携研究・教育に係る確認書を交わした。持続可能な社会を構築するための「フューチャー・デザイン」をテーマとするワークショップを2回開催した。(12月10日、3月18日)	大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター(CoIRe)と連携し、持続可能な社会を構築するための「フューチャー・デザイン」をテーマとするワークショップを2回開催した。(9月30日、12月16日)	△	CoIReの研究テーマである「フューチャー・デザイン」に協力することは、本市の「環境まちづくり」に資するものと考えている。	環境政策室	
		平成28年開設の公園はありません。	平成29年度は、公園1、遊園2、公園の拡大1を開設をしました。	○	開発事業による帰属公園等の開設がありました。引き続き協議してまいります。	公園みどり室	
		吹田市公共交通マップ2017の作成：20,000部 うち約半数を毎年転入窓口で配布。その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。	吹田市公共交通マップ2018の作成：21,450部 うち約半数を毎年転入窓口で配布。その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。	△	公共交通マップを配布することにより、公共交通利用促進に寄与している。	総務交通室	
	② 公共施設における率先実行(節エネルギー、省エネルギー、低炭素エネルギー) ・節エネルギーの率先実行 ・省エネルギー機器・再生可能エネルギーの導入拡大	再生エネルギーの導入実績【千里山駅前交通広場】太陽光発電 92W×2基【吹田市立千里丘中学校】太陽光発電 10kW【吹田市立西山田小学校】太陽光発電 10kW	再生可能エネルギー【新佐竹台住宅】太陽光発電 5.5kW(集会場)太陽光発電 92W(街灯)【吹田市立江坂大池小学校】太陽光発電 10kW【吹田市立豊津中学校】太陽光発電 10kW【はぎのきこども園】太陽光発電 5.4kW	○	昨年度と同様、幼稚園・学校等の教育機関を中心に太陽光発電システムの導入を進めてきた。 吹田市電力の調達に係る環境配慮方針を元に、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を実施した。	環境政策室	環境政策室 総務室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 下水道経営室
		また、再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に吹田市電力の調達に係る環境配慮方針を策定した。	また、吹田市庁舎ほか78施設において、再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を実施した。				
		小学校給食調理室の増築工事(1件)・改築工事(1件)、児童センター・公民館・高齢者いこいの間大規模改修工事(1件)、学校の大規模改修工事(6件)、トイレリニューアル工事(11件)及び屋内運動場改造工事(5件)と、他改修・修繕で新設・更新する照明器具・誘導灯についてLED照明を導入した。また、上記トイレリニューアル工事において人感センサーを導入した。	認定こども園の新築工事(1件)、学校の大規模改修工事(11件)、トイレリニューアル工事(11件)及び屋内運動場改造工事(5件)と、他改修・修繕で新設・更新する照明器具・誘導灯についてLED照明を導入した。また、上記トイレリニューアル工事において人感センサーを導入した。	△	今後も引き続き省エネルギー機器等の導入を進める。	資産経営室	

第2次環境基本計画改訂版 平成29年度重点プロジェクトの実績一覧(H30.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成28年度の実績 (参考)	平成29年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地球温暖化対策の推進(二)	③ 廃棄物処理関連施設包括的管理運営事業 本市資源循環エネルギーセンター、破碎選別工場、資源リサイクルセンター及びストックヤードの管理運営に、民間の活力及び経営手法を導入することにより、より効率的で効果的な廃棄物処理事業及び環境啓発に関する事業を行うことの様々な可能性について、調査・比較・検討を行う。	資源リサイクルセンターの事業として、昨年度に引き続き、環境連続セミナーを開催するとともに、地球温暖化防止をテーマとした啓発イベントをアジェンダ21すいたとも連携してエキスポシティ内において実施した。また、市内大学生と連携して、市内の子育てサロン5か所で地球温暖化防止に関する啓発活動を実施した。	資源リサイクルセンターの事業として、昨年度に引き続き、吹田環境セミナーを開催するとともに、地球温暖化防止をテーマとした啓発イベントをアジェンダ21すいたとも連携してエキスポシティ内において実施した。また、市内大学生と連携して、市内の子育てサロン6か所で地球温暖化防止に関する啓発活動を実施した。	△	地球温暖化防止に向けた環境啓発事業を、市内の大学生とも連携して実施することができた。今後、事業者との連携も含め、さらに内容の充実を図っていく必要がある。	環境政策室	環境政策室 総務室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 下水道経営室
	④ 再生可能エネルギーの導入促進	昨年度に引き続き、おおさかスマートエネルギー協議会(市町村部会)等に参加し情報収集を行った。また、大阪府及び大阪府が共同で取り組むおおさかスマートエネルギーセンターについて、HPで紹介し、市民・事業者へ情報提供を行っている。また、アジェンダ21すいたとの連携・協働により、同団体のHPや、ニュースレター、エネルギー啓発冊子エコプレスを通じて、太陽光発電の導入促進を呼びかけるなどの啓発を行った。	昨年度に引き続き、おおさかスマートエネルギー協議会(市町村部会)等に参加し情報収集を行った。また、大阪府及び大阪府が共同で取り組むおおさかスマートエネルギーセンターについて、HPで紹介し、市民・事業者へ情報提供を行っている。また、アジェンダ21すいたとの連携・協働により、下水汚泥の活用による再生可能エネルギーの導入について下水処理場見学会及び環境フォーラムを開催した。	△	本市のHPやアジェンダ21すいたとの連携・協働による講演会などにおいて、再生可能エネルギーの導入促進の啓発を行っているが、更なる導入促進に向けた支援策や啓発を行う必要がある。	環境政策室	

第2次環境基本計画改訂版 平成29年度重点プロジェクトの実績一覧(H30.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成28年度の実績(参考)	平成29年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
ヒートアイランド対策の推進(1)	① 建築物・道路・駐車場の高温抑制化(高反射性塗装、透水性・保水性・遮熱性舗装など)	校舎・屋内運動場の大規模改修工事において、屋上防水改修を11棟で実施し、仕上げ塗料に高反射塗料を採用した。	(仮称)北千里・古江台認定こども園建設工事のほか、7施設で屋上防水改修を実施し、仕上げ塗料に高反射塗料を採用した。	△	防水工事の際には積極的に高反射率防水を採用する。	資産経営室	環境政策室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 地域整備推進室 水循環室
		平成28年度透水性舗装施工面積: 2296.0㎡	平成29年度透水性舗装施工面積: 2,397.0㎡	△	歩道舗装更新工事の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性舗装の整備に努めており、今後も引き続き行う予定である。	道路室	
		実績なし	歩道等の舗装工事の際に、ヒートアイランド対策として効果が期待できる透水性舗装を採用した。 平成29年度実績 千里南地区センター再整備事業 約520㎡ 都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業 約1570㎡	○	平成29年度から透水性舗装を採用した。	地域整備推進室	
		吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策への取組の検討及び実施することを求めた。	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。	△	公共施設におけるヒートアイランド対策の推進や、開発や建築などを行う事業者に対して取組の検討及び実施を求め、今後も引き続きヒートアイランド対策が促進されるよう努めていく。	環境政策室	
	② 公園緑地・街路樹の整備、緑化の推進(屋上・壁面緑化、みどりのカーテンなど)	平成28年度完了実績 屋上緑化 (1件 33.25㎡) 壁面緑化 (1件 112.40㎡)	平成29年度完了実績 屋上緑化 (1件 36.79㎡) 壁面緑化 (2件 41.31㎡)	△	開発事業に係る緑化指導の結果、緑化を推進できた。	公園みどり室	
		アジェンダ21すいたにおいて、平成28年4月16日(土)に、「みどりのカーテン講座」を開催し、苗の植え方、育成方法を専門家から解説してもらったとともに、ゴーヤの苗を参加者に配付した。当日は71名を対象に実施した。	アジェンダ21すいたにおいて、平成29年5月27日(土)に、「みどりのカーテン講座」を開催し、苗の植え方、育成方法を専門家から解説してもらったとともに、ゴーヤの苗を参加者に配付した。当日は25名を対象に実施した。	△	本年度も、平成30年5月26日(土)に「みどりのカーテン講座」を開催し、ヒートアイランド対策について理解を深めていただくとともに、市内の各家庭で緑化の取組を実践してもらう。	環境政策室	
		吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン(開発・建築版)に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から屋上・壁面緑化を実施する等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施することを求めた。	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から屋上・壁面緑化を実施する等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。	△	公共施設におけるヒートアイランド対策の推進や、開発や建築などを行う事業者に対して取組の検討及び実施を求め、今後も引き続きヒートアイランド対策が促進されるよう努めていく。	環境政策室	
	③ 水辺空間の保全、親水空間の創出	河川管理者と協働し河川の清掃を行った。 (糸田川の清掃を年2回実施) 大角水路において、下水道高度処理水を活用した。	河川管理者と協働し河川の清掃を行った。 (糸田川の清掃を年2回実施)	△	今後も引き続き糸田川清掃業務を実施する予定である。	水循環室	

第2次環境基本計画改訂版 平成29年度重点プロジェクトの実績一覧(H30.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成28年度の実績 (参考)	平成29年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
ヒートアイランド対策の推進(2)	④ 建築物の省エネルギー化、空調排熱の潜熱化	吹田市役所エコオフィスパラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン(開発・建築版)に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、建築物の省エネルギー化等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、計画の早い段階から建築物の省エネルギー化等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施することを求めた。	吹田市役所エコオフィスパラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、建築物の省エネルギー化等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行おうとする事業者に対し、計画の早い段階から建築物の省エネルギー化等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。	△	公共施設におけるヒートアイランド対策の推進や、開発や建築などを行おうとする事業者に対して取組の検討及び実施を求め、今後も引き続きヒートアイランド対策が促進されるよう努めていく。	環境政策室	環境政策室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 水循環室
	⑤ ドライ型ミストの設置						
	⑥ ヒートアイランド現象のモニタリング	ヒートアイランド現象の把握のため、市域における7月～9月の熱帯夜数の把握を行った。	ヒートアイランド現象の把握のため、市域における7月～9月の熱帯夜数の把握を行った。		△	今後もヒートアイランド現象調査として、継続して、熱帯夜数の把握を行う。また、機会を捉えての市域の気温分布踏査の実施を検討する。	環境政策室

第2次環境基本計画改訂版 平成29年度重点プロジェクトの実績一覧(H30.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成28年度の実績(参考)	平成29年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
（環境連携パートナーシップ推進）	① 活動や交流・連携の場を備えたプラットフォーム組織の形成・拡充の支援 ・さまざまな主体が集い、活動や交流を進める場の整備の推進 ・市民団体や企業などを中間支援するパートナーシップ組織の形成	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数80名 ・環境教育フェスタで市内環境団体の交流会を開催10団体から合計19名参加 ・アジェンダ21すいた会員交流会を4月2日(日)に開催 ・環境家計簿参加者140世帯 ・みどりのカーテン講座1回 ・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバッグキャンペーン参加 ・すいた環境教育フェスタに参加 ・ニュースレター及びエコプレスの発行各4回 ・生物多様性に係る自然観察会1回の開催 ・吹田市立博物館夏季展示における博物館エコアップ作戦を9日間 ・エコキャンドル作りを実施3回対象者合計143名 ・地球温暖化防止のための「すいた、私のエコ宣言」の推進で市民や事業者によるエコ宣言約400人分の収集を達成。	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数72名 ・環境教育フェスタで市内環境団体の交流会を開催11団体から合計23名参加 ・みどりのカーテン講座1回 ・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバッグキャンペーン参加 ・すいた環境教育フェスタに参加 ・ニュースレター及びエコプレスの発行各4回 ・生物多様性に係る自然観察会及び大木調査2回の開催 ・吹田市立博物館夏季展示におけるまちなか水族館ボランティアによる淡水魚の展示 ・エコキャンドル作りを実施3回対象者合計109名 ・地球温暖化防止のための「すいた、私のエコ宣言」の推進で市民や事業者によるエコ宣言約600人分の収集を達成。 ・CO2排出ゼロによる「十五夜ムーンライトコンサート」を開催、約200名の来場者があった。 ・食品ロス削減の取組として、JR吹田駅前商店街の店舗を対象に食品ロスに関するアンケート調査を実施した。37店舗からアンケートに対する回答があり、うち9店舗にヒアリングを行った。	○	今後も、引き続き事業を継続するとともに、地球温暖化防止のための活動を中心にして啓発活動及び事業者や市内環境団体との連携を進めていく。	環境政策室	環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 指導室 まなびの支援課
		吹田市立市民公益活動センターにおいて、市民公益活動のフェスタとして、かえっこバザールを開催した。使わなくなったおもちゃを捨てずに再利用することによる環境負荷の低減と同時に世代間交流による地域の活性化、また千里ニュータウンプラザ内の他施設との連携促進を図った。	吹田市立市民公益活動センターにおいて、市民公益活動のフェスタとして、南千里かえっこバザールを開催した。使わなくなったおもちゃを捨てずに再利用することによる環境負荷の低減と同時に世代間交流を通じた地域の活性化、子供たちの社会貢献活動への参加促進、千里ニュータウンプラザ内の他施設との連携促進を図った。	△	さまざまな分野の市民団体の交流、世代間交流を図ることができた。また、千里ニュータウンプラザ内の多くの施設との連携も図った。	市民自治推進室	
		千里リサイクルプラザと共催で、環境学習の展示発表会を1月27日から2月2日、環境学習発表会を2月4日に開催することにより、学校における取組の周知を図った。	千里リサイクルプラザと共催で、環境学習の展示発表会を2月1日から2月7日、環境学習発表会を2月3日に開催することにより、学校における取組の周知を図った。	△	今年度も環境学習発表会を環境教育フェスタと同時開催することで、学校教育における環境学習の成果を広く市民に周知することができる。	環境政策室	
② 積極的な情報提供、相互情報の共有・活用	環境省による「平成28年度地域循環共生圏構築に向けた実証地域における活動団体の公募」に、本市と能勢町を活動地域とする特定非営利活動法人大阪自然史センターの提案が採択された。森里川海の適正な管理と活用による「地域循環共生圏」の構築に向けて、農林業支援を通じた生物多様性の保全や人材育成等に関する取り組みを始めている。	環境省の公募事業である「地域循環共生圏構築検討業務」(実施主体:認定特定非営利活動法人「大阪自然史センター」、活動地域:本市及び能勢町)に平成28年度から参画している。森里川海の適正な管理と活用による「地域循環共生圏」の構築に向けて、農林業支援を通じた生物多様性の保全や人材育成等に関する取り組みを平成28年度に引き続き行った。	△	平成30年度までの事業期間に、街と里のつながりを通して、地域循環共生圏の構築に向けた様々な取組を実施していく。	環境政策室		

第2次環境基本計画改訂版 平成29年度重点プロジェクトの実績一覧(H30.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成28年度の実績 (参考)	平成29年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
（エコスクール）の推進 学校での環境教育	① 環境教育等促進法に基づく環境教育の充実 ・教材の開発や情報の提供 ・教職員の資質向上に向けた研修等の実施 など	・環境教育担当者会を開催し、出前授業の紹介など環境に関する取組の交流・情報提供等を実施した。	・環境教育担当者会を2回実施。第1回担当者会で企業等の出前授業やサービスについて紹介した。第2回担当者会で、国・府からの伝達、各校の取組交流を実施した。	△	・年2回の担当者会をより充実なものにしていくための、情報収集と周知に努める。	指導室	環境政策室 指導室 資産経営室
	② 太陽光発電、太陽熱利用など再生可能エネルギーの導入	【吹田市立西山田小学校】太陽光発電 10kW を導入 【吹田市立千里丘中学校】太陽光発電 10kW を導入	【吹田市立江坂太池小学校】太陽光発電 10kW を導入 【吹田市立豊津中学校】太陽光発電 10kW を導入 【吹田市立はぎのきこども園】太陽光発電 5.4kW を導入	△	学校の大規模改造工事に合わせて、毎年、小学校1校、中学校1校で太陽光発電設備を導入している。また、新築工事において太陽光発電設備を導入している。	資産経営室	
	③ みどりのカーテン、ピオトープ、ミニ水田などの実施	・みどりのカーテンを10校で実施。 ・ピオトープを19校で実施。 ・学童農園を19校、校内ミニ水田を12校、バケツ稲を8校で実施。	・みどりのカーテン11校で実施。 ・ピオトープを19校で実施。 ・学童農園を20校、校内ミニ水田を11校、バケツ稲を3校で実施。	△	・今後ともNPO法人や農家の方々等と連携し、取組実施校を増加させる。	指導室	
	④ 校内物品のリサイクル、生ごみ等の減量化・堆肥化	・平成27年度に引き続き、エコスクール活動簿（環境の取組にかかるチェックシート）を活用し、全小・中学校54校において、児童・生徒、教員のエコに対する意識の高揚を図った。	・エコスクール活動簿を活用し、節電・節水・両面印刷・ごみの分別等を意識づけ、環境教育担当者会にて各校におけるエコスクール活動の実情を交流し、成果、課題、進捗状況報告を行い、取組の推進を促した。	△	・エコスクール活動簿のデータからも年々エコの意識化が進んでいる。今後も引き続き啓発していく。	指導室	
	⑤ 環境学習副読本等の活用	・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置している。	・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置している。	△	・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置していく。	指導室	
	⑥ 環境教育の場の充実	・平成27年度に引き続き、NPO法人やリサイクルプラザと連携した体験的な活動や、学校での取組を発表する場を設定した。	・NPO法人やリサイクルプラザと連携した体験的な活動や、学校での取組を発表する場を設定した。また、出前授業を提案することで、充実した環境教育を提供できた。	△	・環境教育に取り組む専門性の高い機関及び地域等の人材の計画的な活用に努める。	指導室	

第2次環境基本計画改訂版 平成29年度重点プロジェクトの実績一覧(H30.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成28年度の実績 (参考)	平成29年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地域における環境教育の推進(1)	① 環境教育等促進法に基づく協働取組などの推進 ・市民団体や事業者、行政の協働取組の推進 ・環境保全活動を行う団体等への支援 など						
	② 効果的なイベント(講習会・発表会、展示など)の開催	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・みどりのカーテン講座1回 ・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバッグキャンペーン参加 ・すいた環境教育フェスタにおいてエコ双六のゲームやマイボトルの啓発 ・生物多様性に係る自然観察会1回の開催 ・エコキャンドル講座を実施3回(対象者合計143名) ・市立吹田サッカースタジアムで試合中のハーフタイムにおいて啓発活動を実施 ・地球温暖化防止のための「すいた、わたしのエコ宣言」の推進で市民、事業者によるエコ宣言約400人分から作成したエコ宣言の動画をエキスポシティ光の広場で上映 環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に平成29年2月4日(土)「すいた環境教育フェスタ」を開催した。参加者は728名。各団体の環境に対する取組展示やワークショップの実施等。	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・外来種問題について考えようのフィールドワーク1回 ・みどりのカーテン講座1回 ・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパー(18店舗)でのマイバッグキャンペーン参加 ・すいた環境教育フェスタにおいてエコ双六のゲームやマイボトルの啓発、食品ロスに関する展示 ・生物多様性に係る自然観察会及び大木調査2回の開催 ・エコキャンドル講座を実施3回 ・市立吹田サッカースタジアムで試合中のハーフタイムにおいて啓発活動を実施 ・地球温暖化防止のための「すいた、わたしのエコ宣言」の推進で市民、事業者によるエコ宣言およそ1,000人分から作成したエコ宣言の動画をエキスポシティ光の広場で上映 環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に平成30年2月3日(土)「すいた環境教育フェスタ」を開催した。参加者は731名。各団体の環境に対する取組展示やワークショップの実施等。	△	今年度も、市内の各主体と連携・協働を図りながら、市民に広く周知していくことのできる効果的なイベントを積極的に開催していく。	環境政策室	
	③ 講演や講座などの学習機会の充実	廃油石鹸作り、ごみの分別方法、みどりのカーテン講座、古着のリフォーム講座をはじめとした地区公民館講座の開催(主催は各地区公民館)(計46回開催)	廃油石鹸作り、ごみの分別方法、緑のカーテン講座、古着のリフォーム講座をはじめとした地区公民館講座の開催(主催は各地区公民館)(計36回開催)	△	近年注力している現代的課題の一つとして、今後さらに推進していけるよう、各地区公民館と連携していく必要がある。	まなびの支援課	環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 指導室 まなびの支援課
		市報すいたやホームページなどで広報を行い、市内の団体から1件講師の派遣依頼があったため、吹田市のみどりについての出前講座を実施した。	市報すいたやホームページなどで広報を行い、市内の団体から7件講師の派遣依頼があったため、環境教育にかかる出前講座を実施した。	△	市報すいたやホームページなどで広報をさらに進める必要がある。	まなびの支援課	
市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・みどりのカーテン講座1回 ・エコキャンドル講座3回開催 ・生物多様性に係る自然観察会1回の開催 ・再生可能エネルギーに関するセミナー及び見学会1回		市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・生物多様性に関する講演会の開催1回 ・みどりのカーテン講座1回 ・エコキャンドル講座3回開催 ・生物多様性に係る自然観察会と大木調査2回の開催 ・再生可能エネルギーに関するフォーラム及び見学会2回	△	今年度も、市内の各主体と連携・協働を図りながら、市民に広く学習機会を提供していく。	環境政策室		
	地域でのごみ減量・再資源化を図るため、市民を対象とした出前講座、冷蔵庫収納術講習会や紙ごみ削減講習会、環境施設見学会を実施した。また、廃棄物減量等推進員を対象とした、環境施設見学会、ブロック研修会を実施した。フードライブを実施し、食品ロス削減について啓発した。	地域でのごみ減量・再資源化を図るため、市民を対象とした出前講座エコクッキング、ごみ減量サミットすいた2017等の講習会や、環境施設見学会を実施した。また、廃棄物減量等推進員を対象とした、環境施設見学会、全体会及び研修会を実施した。	△	ごみ減量・再資源化を図るため、今後も研修会等を実施し、市民が主体となり取組を推進できるよう努める。また、食品ロス削減や紙ごみ削減に対して、関心のない人が取り組めるようなイベントも考えていきたい。	環境政策室		

第2次環境基本計画改訂版 平成29年度重点プロジェクトの実績一覧(H30.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成28年度の実績 (参考)	平成29年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地域における環境教育の推進(2)	④ 地域において環境保全活動を担う人材の育成	それぞれの家庭や地域において、環境活動を実践する人材を育成するため、シニア層に限定することなく、幅広い世代を対象とした「すいた環境サポーター養成講座」を開催した。29名が講座を受講し、13名が修了した。	それぞれの家庭や地域において、環境活動を実践する人材を育成するため、シニア層に限定することなく、幅広い世代を対象とした「すいた環境サポーター養成講座」を開催した。27名が講座を受講し、11名が修了した。	△	平成27年度から、対象をシニア層に限定することなく幅広い世代を対象とした結果、受講者の平均年齢も下がり(平成26年度:67歳、平成27年度:56歳、平成28年度:43歳、平成29年度:46歳)、受講者数も増加した(平成26年度:17名、平成27年度:28名、平成28年度:29名、平成29年度:27名)。	環境政策室	環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 指導室 まなびの支援課
	⑤ 学習プログラムや教材の研究・開発	学生の協力を得て、吹田市社会福祉協議会が地域で実施する子育てサロンにおいて、保護者に対する地球温暖化問題や省エネ・節エネについて啓発活動を実施した。(12月16日、1月18日、3月23日)	学生の協力を得て、吹田市社会福祉協議会が地域で実施する子育てサロンにおいて、保護者に対する地球温暖化問題や省エネ・節エネについて啓発活動を実施した。(8月3日、9月14日、10月18日、11月1日、2月8日、3月8日)	△	普段環境セミナーなどに来ることが少ない子育て世代に対して、より効果的な啓発方法を研究していきたい。	環境政策室	